

## TAC通信

毎月、TAC (担い手支援担当) の取組み状況などをご報告いたします。

南部地区 (岩槻) 担当TACの山口です。

近年関東地方では、6月～7月の長梅雨、8月の異常な高温、秋～冬にかけての乾燥と、1年を通して安定しない天候が続いています。特に作業性の低下が懸念される長梅雨については、今後あたりまえのこととして事前の対策が必要だと感じます。

今回は、保水性・透水性・空隙率向上を目的とした資材「グリーンビズ・カリュー」を紹介させていただきます。「グリーンビズ・カリュー」は、粘土やシリカなどの材料を約1000℃で焼成、発泡して作られた粒状の多孔性セラミックスで形成されております。ゼオライトと比較して製造工程から穴径の大きいものが多くなっているため、土壌改良剤として使用することにより水はけの向上やぬかるみの軽減がより期待されます。また無機100%で焼成されているため、有害ガスの発生がありません。他にも土壌微生物の生育に寄与し活性化することにより、有機物の分解を促進するなど、作物栽培に多くのメリットがあると考えられます。畑の土づくりや、土寄せ時に使用すると効果的です。是非ご利用ください。

